

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公開番号】特開2005-245681(P2005-245681A)

【公開日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-036

【出願番号】特願2004-59099(P2004-59099)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月3日(2009.3.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機の後側部に対し球タンクの球貯留部、タンクレールのレール通路及び球払出装置の球通路が連通状をなして配置された遊技機であって、

前記球払出装置の装置本体は、少なくとも前側の前構成体と、後側の後構成体とを備えて構成され、

前記前構成体と前記後構成体との間には球通路が形成されるとともに、その球通路の球を所定方向に払い出す払出部材が組み付けられてユニット状に構成され、

前記後構成体は前記球通路を流れる球を後方から視認可能に透明な合成樹脂材によって形成され、

前記前構成体は不透明な合成樹脂材によって形成され、同前構成体の前側には前記払出部材を駆動する電動アクチュエータが装着されていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機であって、

前記前構成体と前記後構成体との間には、透明な合成樹脂材によって形成されかつ球通路を前後複数列に区画する中間構成体が配設されていることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の遊技機であって、

球払い出しに関する光学式検出器を備え、

前記光学式検出器の光検出部分が前記前構成体の前側に配置されていることを特徴とする遊技機。

【請求項4】

請求項3に記載の遊技機であって、

前記払出部材は、電動アクチュエータを駆動源とする回転軸を中心として回転されことで球通路の球を所定方向に払い出すとともに、

前記光学式検出器は、前記回転軸の軸上に設けられた被検出体を光検出部分において検出可能に構成していることを特徴とする遊技機。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか一項に記載の遊技機であって、

前記球タンクの球貯留部及び前記タンクレールのレール通路の球を後方から視認可能に

、前記球タンク及びタンクレールの少なくとも後壁部は透明な合成樹脂材によって形成されていることを特徴とする遊技機。